

# マイセルフ

自分らしく



## 「私」でいること

～心・伝統を繋ぐものとして～



私たちが見つけた品川区の

Vol. 13 花子と太郎



大井町所縁の詩人・萩原朔太郎の詩集「青猫」にちなんで「花子と太郎」が建てられました。通称、猫公園（大井町緑地児童遊園）にありますので、温かい飲み物を持って冬のお散歩コースにいかがですか？

ちよつといい所  
素敵なおところ  
♪

2017 Dec.



- 「私」でいること
- 男女共同参画センターからのお知らせ

2～5 P

6～8 P

VOL. 56

特集

# 「私」でいること ～心・伝統を繋ぐものとして～



まつ乃家の女将として、また、芸者として活躍されている、まつ乃家栄太朗さんにお話を伺いました。

基本的な仕事内容を教えてください。

お客様同士の間を補助する役目を果たすのが、私たち芸者の仕事です。宴席・宴会の場で、お客様同士の架け橋になり、間を上手く取り持てるようにすることを日々心がけています。

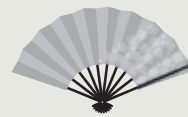
お客様からのご用命・ご要望がある限りは、海外に行くこともあります。海外の場合はどうしても芸者のイメージの方が強いので、補助するよりも私たちがメインになることが多いです。しかし、根元にあるのはお客様を補助することですから、基本的に私たちが主役になることはありません。

どのようなことが補助になるのでしょうか？

空気を読むことですね。しかし、一般的に言われている空気を読むことと、私たちの考える空気を読むことは違う気がします。世間の言う空気を読むとは、悪いこと

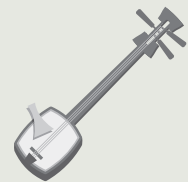
## まつ乃家

大井海岸にある、伝統の息吹を絶やさぬようにそして大井海岸をより多くの方に知って頂くべく、日々活動している芸者置屋。



## 置屋(おきや)

芸事やしきたりを教え、着物などを用意して芸者としてお座敷に送り出す、いわば芸者のプロダクションのようなもの。



をしてはいけないとか、何か間違ったことを言っただけだと思っただけです。そういうことではなくもっと全体的な空気を読むことが大事で、その場を集約するのが私たちの役割だと考えています。

私たちのお商売は、基本的に言葉遊びが大事なんです。上手く会話に返すということとです。当たり前な事を言うのではなく、その言葉に対してちょっと引掛けたり全く逆の事を言ってみたりして、それをお客様につっこんで頂いて一つ笑いを作るとかですね。言葉遊びをベースにして会話を作っていきます。お座敷というのは、私たちにとっての舞台なんです。お座敷に入った瞬間から、私たちは芸者衆という役が決まっているわけですね。それは一つの会話のショーの始まりでもあります。この会話を円滑に進めていくことが、お客様を補助することに繋がると考えています。

芸者という職業に就かれた経緯について教えてください。



私の曾祖母が芸者をやっていて、母も芸者になり、独立をしてまつ乃家を作りました。私はその二代目女将になります。母が亡くなるまでは、領収証の書き方も収入印紙の貼り方も知りませんでした。私が23歳の時に母が亡くなって、やっと目が覚めて、様々なことと向き合う心の準備が整いました。今となっては、母が死して私をどうに

か成人させてくれたのかなと思っ  
ていますね。

お稽古自体は、8歳ぐらいから  
始めました。母の勧めで日本舞  
踊や三味線、鳴物などのお稽古  
をするようになりましね。お座  
敷には10歳から出させてもら  
っていましたが、お客様へお酌  
やお話しはせず、踊りを踊っ  
て帰るだけでした。

まつ乃家の芸者さんは今何人  
いらっしゃいますか？

現在は私を含めて4人で、年齢  
は大体同じくらいです。芸者  
という職業は、生涯ずっと続  
けられるお仕事だと思ってい  
ます。お客様も一緒に年を重  
ねていくので、どんな縁が深  
まっていますからね。1つの縁  
が長い縁に繋がっていくこと  
もあり



ますし、もちろん、私の1つの  
失敗からどんな縁が遠ざかっ  
てしまっこともあります。一瞬  
一瞬を、芸者としての務めを  
果たしていけば、自ずとお客  
様との繋がりが広がっていく  
のだと思います。だからこそ、  
若い時にどれだけお客様との  
関係を深めていけるのかとい  
うことが大切なんです。

一人前と言われるくらいにな  
るまでは、大体何年くらいか  
かるとお考えですか？

一人前というのはなにもって  
いうのが難しいのですが、この  
仕事は、人間同士の関係性を  
高めることができる人こそ適  
正だと思っています。人間同  
士の関わりなんて、子どもの  
頃からみんなやってきている  
ですから、自ずとできてしま  
う人もいます。相手のことを  
考えて、何を思い浮かべて行  
動すべきなのかを考えると、  
一人前ということになるのは  
ないでしょうか。

やりがいを感じる瞬間について  
教えてください。

娯楽という、明日辞めても誰  
も困らない

商売なので、必要じゃないか  
らこそ必要とされる存在にな  
っていかなくてはと思いま  
す。正直、芸者衆を呼ばなく  
ても宴会は成り立ちます。で  
も、そこに芸者衆がいたら  
こそ、普段よりもいい宴会だ  
ったな、楽しかったなと思っ  
てもらえることに、やりがい  
や、私たちが存在する意味  
を感じます。

お客様とのやりとりの中で  
大切にしていることといえば、  
何よりも自分らしくいるこ  
とです。マニュアルがあつて  
みんな同じように話してしま  
えば、一応成立はするんじ  
ょうけど、そこからは何も  
発展しないかなと思います。  
一番は、どれだけその人に  
気に入って頂けるのかとい  
うことです。マニュアルがあ  
るよりも、自分の考えた中  
で自分の好きなことをして  
気に入ってもらうことが、  
長年付き合うためには必要  
なこと。マニュアルなんてい  
つかは通用しなくなるでし  
ょうから、最初から自分ら  
しく、自分を出していった  
方が結果的には近道なの  
かな、とは思っていますね。

夜遅くなることもあると思  
いますが、体調管理は、どの  
ようにされていますか？

お仕事柄お酒を飲むことが  
多いですし、

お客様第一でやっています  
ので、体調管理は難しいです  
よね。会社なら誰かが休ん  
でも他の誰かがフォローでき  
るんですけど、私達の場合  
は、その人が来ないならや  
らないって感じなので、基  
本休めないです。本当にど  
うしようもない時には直  
接ご連絡をして、状況を  
お伝えして、日をずらして  
頂けないでしょうかと願  
いをします。そこで、快  
く「わかったよ」と言っ  
て頂ける。自分自身が好  
きでこのお商売をやりたい  
んですし、お酒を飲みなが  
ら、お客様と本当にくだ  
らないお話をすることもあ  
ります。何よりも、取り繕  
うわけではなく自分らし  
く素直にやっているの  
で、その辺はストレスな  
どもなくお仕事させて  
頂いてると思います。  
普通の方々とはそこが  
ちよっと違う



取材風景



のかもしれませんが。わざわざ気分転換をするほどのストレスも溜まっていますね。休みだから何をしよう、という風には思いません。とりあえず、気の向くままに過ごすことが多いです。

高校生の頃は母が病気という事もあり、代わりに出なくてはいけないということもありました。学業との両立を考えると、学生の頃が一番忙しかったと思います。雨が降ろうが、槍が降ろうが、学校に行かなくては行けませんからね。そういう断固たるものがある中だったので、当時の方が気晴らしは必要だったのかもしれませんが。今は自分が好きなお仕事をさせて頂けることが素晴らしいと感じています。

お座敷で気をつけていることなどはありますか？

必ずしも女性的に振舞わなければいけな

いとか、女性であることを表現しなくてはいけないとは考えていません。お客様は、一人間として見て頂いていると思っっています。女性の格好をしているか、男性の格好をしているかという点は大した問題ではなくて、性別が見えないからこそ人間として見て頂いているかなと思います。取り分け女性になるための努力や、気にしていることはありませんが、仕事をする上で必要になるような素養はありますよ。日本舞踊をやっているので、女形を自分の中に落とし込んで女性らしく動いたり、参考になりそうな映画を観たりもします。着物を着て演じている、昔の映画を観ることが多いです。やはりお話の仕方や立ち振る舞いは、見て学んだ方が早いですからね。色んな方を参考にさせて頂きました。昔は、人に見て頂く立場の人間として女性を演じる、という感覚がありました。今は特にないですが、自分らしく、栄太朗らしくやっということ思っています。

他所街の芸者さんとの関わりもあるのでしょうか？

あります。でも、ここ最近からだと思っいます。今は芸者の人数が少なくなっている

ので、みんなで力を合わせて頑張りましたよ、という風潮があるように感じます。なので、他所街の宴会に伺うこともありますし、逆に来て頂くこともありますよ。規模にもよりますが1回のお座敷では、お客様4人に対して芸者1人くらいが必要になります。お客様にご納得いただけるパフォーマンスをするために、私がおすすめている人数です。パーティーの場合は、100人くらいのお客様がいらつしやる中で芸者が2人というときもあります。できることを一生懸命やるだけですね。

年間ではどれくらいお座敷に立られていますか？

3日に1回、2日に1回とかで、年間



160回ほどになります。そのうちの5回

くらいは、どうしようもない日があつて、さすがに気分が落ち込みます。でも、そこからどう盛り返していくのが大事ですね。仕事でミスをしたときに、相手の方と疎遠になってしまつ場合もあるじゃないですか。でも、そこから一歩踏み込んで、誠意を持って謝りに行つたり、手紙を書いたりすることが大切だと考えています。行動次第でより深い関係になっていくこともあります。失敗はしてはいけないのではなく、失敗した後に何ができるのだろうと考えることが大切なんです。相手に対してどれだけ誠意を持って接していく事ができるのだろうということの方が大事なかな。怒られて当然、叱られて当然、という世界です。人間関係が深くなつていく中で、どうしてもこの人とは合わないなと思う瞬間だつてもちろんあります。誰だつて嫌いな人がいて当然だし、その代わりに好きな人がいて



当然です。全員と平等に接することはできないのではないのでしょうか。例えば、入社一年目の方と、呼んで下さった社長さんがいらっしやうとしたとすると、両者と平等にお話しすることは難しいですね。でも、いつか入社一年目の方がお座敷で芸者衆を呼んで下さることがあるかもしれません。だからこそ、上手くバランスを取ることが重要なんです。私は平らな平等ではなく、不平等をある意味平等とした、バランスが大事だと思っています。

品川区にお住まいということで、地域に根差した取り組みなどはされていますか？

私個人としては、品川区や地域の方々と関わらせて頂きたいのですが、それが一番難しいなと思っています。如何せん、世間一般の言葉で言えば芸者は水商売ですからね。でも、もし関わらせて頂けるのであれば、アーティストのような扱いでパフォーマンスをしていく形になるのだと思います。

今後の展望について教えてください。

先ほど申し上げた通り、私たちのお商売

はなくても困らないようなお商売なので、未来に大きく展望ということではないのですが、「なくさない」ということが一番大切ですね。どれだけの方に必要だと思っ頂けるかということが、自分たちが文化として生き残っていくために大切なことだと考えています。そのためには、絶えず自分たちのポリシーを持ち続けていくことが、なくならない、なくさないということに繋がっていくのではないのでしょうか。

私たちはこのお商売をしているので、日々「芸者」や「半玉」「舞妓」「芸妓」などの言葉を使いますが、恐らく一般の方々が芸者という言葉を使うのは年に1回〜2回くらいだと思います。そういった意味でも日常に浸透はしていないと思うので、伝統を残していくには、まず、より多くの皆様に私たちのことを知って頂くことが大切だと思っています。



## 編集後記

素直でいるという自分らしさを大切にすること、失敗してもその後の行動によっていくらでも良くなること、ができること、栄太朗さんの人との関係を大切になさるお仕事だからこそ、お客様に対する姿勢や考え方がとても素敵だなと感じました。

お話しの中であった「物事はなんでも大変な方を選んでやる」という栄太朗さんのお母様のお言葉が強く印象に残っています。私は簡単な方を選択することが多いので、大変な方を選択する栄太朗さんのように強く美しい、自分らしい生き方を選択していきたいと思いました。

基本的なことや分からないことも、大変分りやすく栄太朗さんはお話ししてくださりました。また、お話の中で印象的であった、どんな時でも自分の中に一本の軸を持つ事や、自分らしさをもち続けることを忘れない生き方をしたいです。

娯楽という商売を伝統として残していくためには、人との関わりが大切だと気づかれました。娯楽だけではなく全ての物事に当てはまることだと思います。人間同士補助し合う関係でありたいと思いました。取材を通して栄太朗さんから学んだ多くの事を胸に刻んで

いきたいと思っています。

お話の中で「今後の展望として革新ではなく今あるものを残すことに重点を置きたい」という言葉が印象的でした。すさまじい勢いで様々なものが変わっていく中、私は自分を見失っていたのだと思います。栄太朗さんのように、まっすぐで、芯の通ったぶれない心を持ちたいと強く思いました。

お会いした瞬間から、さりげない所作がとても美しく、つい見とれてしまうほどでした。また、随所に「言葉遊び」が散りばめられており、緊張していた私たちの雰囲気をやかにしてくださりました。取材を通して栄太朗さんのお心遣いを感じました。



編集委員

■ デートDV講座 (7月5日 参加者11名)

『危険なSNS～ネットトラブルから自分と家族を守る～』

講師 木村 尚文氏 (全国webカウンセリング協議会・第一学院高等学校理事)

子どもをとりまくインターネット環境スマートフォンやSNSを使って気軽に連絡が取りあえる半面、スマホ依存やLINEはずし、送った写真を使いたいじめ・リベンジポルノなど、トラブルの事例や課題などを知り、親としてどう子どもたちに向き合うかのお話をいただきました。

参加者の方からは「LINEが起す弊害、ネットがもたらすリスク、コミュニケーションスキル：傾聴、分かりやすい話でとても参考になりました。」「SNSといったテクノロジーから始めて、更にはコミュニケーションまで踏み込んだお話をいただき大変参考になりました。特に、傾聴については、実際に手が届く範囲のもので実践できるのではと思いました」などの感想をいただきました。



■ デートDV講座 (7月12日 参加者3名)

『親として知っておきたい デートDVってなあーに?!  
～互いを尊重し合う関係へ～』

講師 野本 美保氏 (NPO法人 女性ネットSaya-Saya)

デートDVって知っていますか? デートDVとは、恋人間の暴力のことで。

近頃子どもの様子がおかしい、子どもから付き合っている相手のことで相談された、その時、あなたはどうしますか?デートDVを受けると、心も体も深く傷つき、未来への希望が見えなくなることもあります。

今回の講座では、実際にDV被害者支援をしている講師の方からお互いに尊重することの大切さ、暴力を使わないコミュニケーション、暴力による心の傷の深さとケアの重要性を学びました。

さらに、親として、「話を聞く耳を持つ」「性について、おとなに話を聞いてもらったり、話したりしていいことを伝える」「性について話し合える関係を日ごろから作る」「子どもに、あなたは大切な人だというメッセージを伝える」などが親子の信頼関係を築くとともにデートDVを未然に防ぐ手立てであることを学びました。



■ 親子コミュニケーション講座 (7月22日 参加者:12名)

『星空カフェ』

講師 宮坂 憲央氏 (NPO法人小さな天文学者の会・星空案内人(星のソムリエ)・五反田プラネタリウム講師)

親子で『星空カフェ』に参加し、夏の星座の探し方、楽しみ方を学びました。また、星空案内人(星のソムリエ)宮坂講師の指導のもと、「星座早見盤」を親子で協力し作成しました。

参加者の方からは「クイズで“座”八十八個おもしろかったです。「星座の神話」の話がとても面白かった。これから、本を読んでみたいと思います。星座表の見方が分かって参考になりました。田舎に帰省したとき活用したいです」「夏の大三角形の探し方のポイントが分かってよかったです。」など感想をいただきました。



■ ワーク・ライフ・バランス講座 (9月14日 参加者13名)

『身軽で快適な生活と人生を』

講師 結木 利奈氏 (株インビジブルビジョンズ代表)

今回の講座では、まず、アートセラピーで自身の現状でのワークライフバランス度を把握しました。さらに、性格診断テスト「エゴグラム」を活用した自己分析を行い、想像型、行動型などのタイプ別特徴や好みを知り、それぞれに適応した仕事と人のかかわり関わり方からゆとりある生活を求める術を学びました。受講生からは、大変参考になったとの声が寄せられました。



■ 男女共同参画推進講座 (9月27日 参加者22名)

『アンガーマネジメント講座～怒りのコントロール術～』

講師 江野本 由香氏 (一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会公認ファシリテータ)

アンガーマネジメントが出来るようになるための三つの対処法、①衝動のコントロール、②思考のコントロール、③行動のコントロールについての講義を受け、「後悔しない(怒る必要のあることは上手に怒れ、怒る必要のないことは怒らなくなる。」「上手に表現できる(他人を傷つせず、自分を傷つせず、モノを壊さず上手に怒っていることが表現できる。)」方法を学びました。

参加者からは、「衝動/思考/行動と分けて、それぞれコントロールする方法を具体的に教えていただいたので、すぐに試していきたいです。」「“へき”の多い人にはどう対応したらいいか聞いてみたいです。」「対処法3つの方法が参考になりました。特に“6秒まつ”ルールはすぐにでき簡単で、即実行します。」など、多くの感想をいただきました。



■ 男女共同参画推進講座講座 (10月3日・10日 参加者延べ37名)

『コミュニケーションに活かす傾聴講座～傾聴で元気をプレゼント～』

講師 別府 明子氏 (NPO法人【仕事と子育て】カウンセリングセンター カウンセラー)

傾聴とは、理解しようと耳を傾け心こめて相手の話を聴くことです。傾聴する場合の心得について、ロールプレイを通して学びました。まず、「健康のために今行っていること」を題材に「①. アイコンタクト、笑顔、相づち、うなずき」で話を聴くこと。次は、「最近楽しかったこと」について①に加え「②. 共感のことば」を入れて聴くこと。更には、「最近腹が立ったこと」について①、②に加え「③. 質問(問いかけ)」を入れること。最後は、「これからやってみたいこと」をテーマに①～③に加え「オウム返し」を加えて対話することを実践しました。講座を通して、傾聴はする人もされる人も幸せな気分になることを学びました。

参加者からは、「相手の心を開かせる話でつなぐ方法を少しなりとも学ばせてもらいました。」「ロールプレイは、勉強になりました。共感されたと誤解されないためのフレーズ、大変参考になりました。」などの感想をいただきました。



■ 男女共同参画推進講座講座 (10月6日・13日 参加者延47名)

『ヴィクトリア女王と演劇』

講師 門野 泉氏 (清泉女子大学名誉教授)

①10月6日(金)「ヴィクトリア、女王への道」 ②10月13日(金)「女王とシェイクスピア劇」

毎年申込の多い講座です。今年は、一日目が「ヴィクトリア、女王への道」、二日目が「女王とシェイクスピア劇」をテーマに開催しました。

受講者のみなさんからは、「次回も楽しみにしています。」「演劇舞台の裏の様々な事情がわかり大変興味深かったです。」「先生のすばらしい説明であの頃の時代がよくわかり楽しく学ぶことができました。」などの高評価を沢山いただきました。



講座のお知らせ

- 会場** 品川区立総合区民会館きゅりあん (品川区東大井5-18-1)  
**問合せ先** 男女共同参画センター 電話 5479-4104 FAX 5479-4111  
**定員** 25名 託児あり (定員に達している場合もありますのでご了承ください。)

※以下の内容は原稿作成時のものです。最新の情報は広報しながわおよび品川区HPでご確認ください。 ※日時が変更される場合があります。

開催日	内容	講師	広報しながわで募集(予定)
1月23・30日☎ 午前10時～12時	女性の活躍支援講座 「キャリアデザイン入門講座」(2日制)	講師 江野本 由香氏	12月1日号
2月1日☎ 午後6時30分～8時30分	男女共同参画推進講座 「変わりゆくストーカー被害の実態と対策」	講師 小早川 明子氏	12月11日号
2月20・27日☎ 3月6日☎ 午前10時～12時	「よりよい人間関係を結ぶ アサーティブコミュニケーション講座(初級)」(3日制)	講師 小柳 茂子氏	1月11日号
3月8・15日☎ 午前10時～12時	ワーク・ライフ・バランス講座 「始めの一步～人に好かれる所作・声について 考えてみませんか～」(2日制)	講師 結木 利奈氏	2月1日号

夫など、パートナーからの暴力に悩んでいませんか？

暴力は犯罪です。ひとりで悩まず、ご相談ください。

東京都の配偶者暴力相談支援センターなどもご紹介いたします。詳しいことは品川区男女共同参画センターへ Tel. 5479-4104

★男女共同参画センターDV専門相談……毎月第1・3・4・5日☎ 午後1時～4時

……毎月第2日☎ 午後5時30分～8時30分 ※事前予約による面接または電話相談。

☆しながわ見守りホットライン ※24時間つながります。

(DV) Tel. 3777-6601 (児童虐待) Tel. 3772-6622 (高齢者虐待) Tel. 3772-6699 (障害者虐待) Tel. 3772-6605

★国(内閣府男女共同参画局)の相談窓口「DV相談ナビ」……Tel. 0570-0-55210 (お近くの相談窓口を自動音声によりご案内)

① 緊急のときは(身の危険を感じたら)……☎警察 110番(事件発生時)

## 男女共同参画推進登録団体紹介20 「傾聴バレンタイン」

代表 藤本 完治

### 「傾聴バレンタイン」ってご存知ですか？

- お話し相手ボランティアの団体です。10年前、品川区主催の「傾聴ボランティア」講座卒業生により結成され現在26名の会員からなる平均年齢70歳の高齢者朗人団体です。  
講座の終了日が2月14日だったので「傾聴バレンタイン」と命名しました。
  - 現在、品川ボランティア団体登録並びに、品川男女共同参画推進登録団体として楽しく活動中です。
  - 主たる活動は、
    - ①地域の高齢者施設での傾聴（相手に寄り添い心の声を聴く）活動。現在区内13施設で活動中。
    - ②毎月第3水曜日、南品川シルバーセンターで、ほっとサロン「うさぎのおみみ」を開催、地域のお元気な高齢者、子育て中のお母さん、介護者等の方々の憩いの場として、健康体操、朗読会、お茶会、等々参加者の特技も披露していただくなど2時間をおいしいコーヒーを飲みながらゆったり楽しく過ごしていただいております。（参加費無料）
    - ③奇数月の第2月曜日、定例会を開催、会員間の情報交換や、活動上のお悩み相談、スキルアップ勉強会、等を行っております。
    - ④ボランティアセンター、男女共同参画センター主催の「傾聴講座」に協力参加させていただき、「傾聴」の普及活動と、「傾聴バレンタイン」の紹介を行っております。
- 皆様のご参加、会員のお申込などお待ちしております。
- お問合せ、ご質問等は代表藤本迄…… ☎ 03-3458-9346  
携帯 090-8309-1800  
Eメール f-fuji@u01.gate01.com



## 男女共同参画センターからのお知らせ

### 女性相談員による相談室

人間関係、家族の問題、  
配偶者や恋人などからの暴力（DV）や  
性的マイノリティについて等、心や生き方の悩み  
また離婚、相続等、法律に関することなど  
お気軽にご相談ください  
（性別問わずどなたでもご利用ください）

#### 電話相談

※原則、品川区在住の方が対象です

カウンセラーによる電話相談

毎月第1・2・3木曜日 午前10時～午後4時

（ただし、木曜日が祝日の場合はお休みとなります）

正午～午後1時前後は休憩時間のため、対応できないことがあります。

終了時間が午後4時ですので、お電話は午後3時30分ごろまでお願いいたします。

専用電話 5479-4105

#### 面接 相談

無料。事前予約が必要です。予約電話 5479-4104

※予約受付時間 平日午前9時～午後5時

	相談時間	12月	1月	2月	3月
法律相談	午後1時～3時30分	6日 (水)	10日 (水)	7日 (水)	7日 (水)
	午後1時～3時30分	12日 (火)	16日 (火)	13日 (火)	13日 (火)
	午後5時30分～8時	18日 (月)	22日 (月)	19日 (月)	19日 (月)
カウンセリング 相談	午後1時～4時	21日 (木)	25日 (木)	22日 (木)	29日 (木)
DV相談	午後1時～4時	1・15・22日 (金)	5・19・26日 (金)	2・16・23日 (金)	2・16・23・30日 (金)
	午後5時30分～8時30分	8日 (金)	12日 (金)	9日 (金)	9日 (金)

※法律相談は、弁護士に法律に関することを  
カウンセリングはカウンセラーにこころと生き方の悩み事を  
DV相談は、専門相談員にDVに関する事を相談できます。  
男性のDV相談は、事前予約の上で電話相談となります。

☆交流室や会議室を、男女共同参画の推進を目的とする活動や学習のために、ご利用ください。交流室には資料コーナーが併設されています。

◇交流室 18席（最大）：個人やグループの活動の場としてご利用ください。

◇会議室 36席（最大）：利用する場合は、あらかじめ団体登録が必要です。詳しくは男女共同参画センターにお問い合わせください。

特集記事にご意見・ご感想をお寄せください。お待ちしております。

○次号「マイセルフ 自分らしく」57号は平成30年4月発行予定です

マイセルフ・自分らしく-VOL.56（「しながわの女性」から通算すると86号） 2017年12月発行（年3回発行）品川区総務部人権啓発課男女共同参画担当  
〒140-0011 品川区東大井5-18-1 品川区男女共同参画センター TEL.5479-4104 FAX.5479-4111 Eメール：danjo@city.shinagawa.tokyo.jp

●区内の各図書館、地域センター、文化センターなどで配布しています。 ※古紙を配合した紙を使用しています